

## 2006年3月期第3四半期（4-12月累計）連結決算の進捗状況

2006年2月7日  
アルプス電気株式会社

### 【2006年3月期 第3四半期 連結業績】

< 連結 >				(単位：億円) 億円未満は切り捨て表示		
(第3四半期：公表値進捗)				(前年同期比)		
	2005/4-12月 実績	2006/3通期 (11/8)予想	進捗 率	2004/4-12月 実績	前年同期 差異	増減 率
売上高	5,324	6,800	78%	4,736	588	12%
営業利益	363	420	87%	234	129	55%
経常利益	370	410	90%	232	137	59%
四半期純利益	153	160	96%	141	12	9%
為替レート(US\$)	112.11円	109.74円	2.37円	108.56円	3.55円	円安
" (EURO)	136.91円	135.32円	1.59円	134.60円	2.31円	円安
(セグメント別売上高：公表値進捗)				(前年同期比)		
	2005/4-12月 実績	2006/3通期 (11/8)予想	進捗 率	2004/4-12月 実績	前年同期 差異	増減 率
コンポーネント	621	776	80%	553	68	12%
磁気デバイス	579	745	78%	449	130	29%
情報通信	447	600	75%	491	43	9%
ペリフェラル	896	1,100	82%	839	57	7%
車載電装	586	777	76%	503	83	17%
【電子部品 計】	3,132	4,000	78%	2,836	296	10%
音響製品	1,852	2,390	78%	1,611	240	15%
物流その他	339	409	83%	288	51	18%
【合計】	5,324	6,800	78%	4,736	588	12%

### 【コメント】

#### 第3四半期売上高(4-12月) < 対通期予想の進捗率 >

- ・ 連結売上高 5,324億円(対通期予想の進捗率 78%)

**為替影響**：通期予想に対して円安で推移したことから、当第3四半期累計で概算62億円の増収要因  
(参考：為替1円に対する売上への概算影響額 US\$ 2.5億円/月、EURO 0.6億円/月)

**電子部品事業における進捗率は78%**：デジタル機器の世界的な普及や自動車の電装化などを背景に、5事業がバランスよく堅調な業績の推移を見せている。(部門別の概況は、以下を参照)

**音響製品事業における進捗率は78%**：自動車メーカー向けカーナビや「i-Pod」に対応した市販市場向け車載用CDプレーヤーなどが想定通りの推移を見せている。

**物流その他事業における進捗率は83%**：物流事業について、下期より国内・国際貨物の貨物量が増加する環境のなか想定通りの推移を見せている。

#### 第3四半期利益(4-12月) < 対通期予想の進捗率 >

- ・ 営業利益 363億円(対通期予想の進捗率 87%)

**為替影響**：通期予想に対して円安で推移したことから、当第3四半期累計で概算20億円の増益要因  
(参考：為替1円に対する営業利益への概算影響額 US\$ 0.8億円/月、EURO 0.1億円/月)

**退職年金制度変更の影響**：過去勤務償却益 63億円を期初予想通り計上している。  
(内訳：電子部品 53億円、音響製品 9億円)

電子部品事業における進捗率は89% (同累計 230億円/通期予 260億円、為替影響を含む) となり、10-12月期がX'mas商戦向けに高い稼働状態で推移したことや、為替の円安影響も加わり進捗が進んだ。

音響製品事業における進捗率は81%（同累計 80億円/通期予 100億円,為替影響を含む）となり、上期より引き続き自動車メーカー向けカーナビなど堅調な業績で推移していることから、想定通り通期予想は達成を見込んでいる。

物流その他事業における進捗率は80%（同累計 48億円/通期予 60億円,為替影響を含む）となり、物流事業を中心に想定通り順調に進捗である。

- ・ 経常利益は、370億円(同 90%)となる。  
営業利益の状況に沿った進捗となっている。
- ・ 四半期純利益は、153億円(同 96%)となる。  
経常利益の状況に沿った進捗となっている。

## 電子部品事業の部門別状況

### (コンポーネント)

- ・ コンポーネント事業は、第3四半期売上高が 621億円(対通期予想の進捗率 80%)となる。  
携帯電話用や小形デジタル機器用のスイッチやゲーム機用のボリュームなどが堅調に推移した。

### (磁気デバイス)

- ・ 磁気デバイス事業は、第3四半期売上高が 579億円(同 78%)となる。  
上期に続いてHDD用ヘッドが高水準の売上で推移した。

### (情報通信)

- ・ 情報通信は、第3四半期売上高が 447億円(同 75%)となる。  
10-12月は携帯電話向けBluetoothが堅調であったなどほぼ予想通りに推移した。

### (ペリフェラル)

- ・ ペリフェラル事業は、第3四半期売上高が 896億円(同 82%)となる。  
LCDは想定通り下期から売上が減少しているが、デジカメ用プリンタなど堅調に推移した。

### (車載電装)

- ・ 車載電装事業は、第3四半期売上高が 586億円(同 76%)となる。  
北米新車販売の好調を背景に、ステアリングモジュールなどが予想通りに推移した。

## たな卸資産在庫

- ・ 連結ベースで2005年12月末は9月末と比べて28億円の増加(9月末 905億円 12月末 933億円)。  
電子部品事業：ほぼ横這い(同 553億円 560億円)  
音響製品事業：顧客の新車販売好調などから在庫が増える傾向が続いた(同 343億円 364億円)

## 2006年3月期通期の業績見通しについて

- ・ 昨年11月8日に示した予想については、売上・利益ともに達成が可能と見ているが、年明け後の第4四半期を季節性などから慎重に見ており、現時点で修正を行わない。

## 磁気デバイス事業へのSeagate・Maxtor合併影響

- ・ 両社の合併は秋以降になることから、現時点も顧客情報であり影響のコメントは控えている。
- ・ 当社の電子部品事業については、5つの事業を柱に経営しているため、個々の事業で一時的な売上に影響があったとしても、他の事業でカバーしていきたいと考えている。

### (業績予想の利用に関する注意事項)

上記に記載した将来に関する予想数値およびコメントは、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の今後の業績等は今後様々な要因によって予想数値およびコメントと異なる結果となる可能性があります。

以上

# 2006年3月期 第3四半期 決算参考資料

(注意事項)

当資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおり、実際の今後の業績の今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となることをご承知おきください。また当資料については会計士監査対象外となっています。

2006年2月7日

アルプス電気株式会社

**アルプス電気 連結**

1. 経営成績

(単位：億円)

	2004年度					2005年度				
	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	通期	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	通期(11月8日予)
売上高	1,519	1,608	1,608	1,699	6,436	1,682	1,796	1,845	-	6,800
国内	396	400	427	415	1,639	412	411	441	-	-
海外	1,123	1,208	1,180	1,284	4,797	1,269	1,384	1,403	-	-
営業利益	56	92	85	76	310	107	109	146	-	420
経常利益	75	91	65	76	309	110	109	150	-	410
当期純利益	31	77	32	21	163	45	31	76	-	160

2. 製品部門別売上高

(単位：億円)

	2004年度					2005年度				
	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	通期	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	通期(11月8日予)
電子部品事業	881	974	980	1,033	3,869	957	1,084	1,091	-	4,000
コポ-ネット	177	192	183	179	733	186	212	223	-	776
磁気デバイス	135	167	146	162	611	172	217	190	-	745
情報通信	173	171	146	144	636	133	152	161	-	600
ﾊﾞﾘﾌﾟﾙ	225	279	334	356	1,195	269	311	315	-	1,100
車載電装	169	163	169	190	693	195	191	200	-	777
音響製品事業	551	539	520	558	2,170	618	597	636	-	2,390
物流・その他	86	93	107	107	395	106	115	117	-	409
合計	1,519	1,608	1,608	1,699	6,436	1,682	1,796	1,845	-	6,800

3. 部門別営業利益

(単位：億円)

	2004年度					2005年度				
	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	通期	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	通期(11月8日予)
電子部品事業	12	50	43	40	147	57	67	105	-	260
音響製品事業	30	26	26	19	101	33	23	23	-	100
物流・その他	12	16	14	14	57	15	16	16	-	60
消去	1	0	0	1	4	1	1	1	-	-
合計	56	92	85	76	310	107	109	146	-	420

4. 部門別設備投資・減価償却実施額

(単位：億円)

	2004年度					2005年度				
	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	通期	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	通期(11月8日予)
電子部品事業	77	83	68	101	330	104	96	77	-	375
音響製品事業	22	24	16	40	104	27	31	25	-	111
物流・その他	3	11	20	0	36	6	4	5	-	24
消去	0	0	0	0	0	0	2	0	-	2
合計	103	120	106	141	471	138	129	108	-	509
減価償却実施額	85	128	95	100	408	91	96	89	-	371

(注)1. 設備投資については、実績は取得ﾊﾞ-ｽで記載し、予想は発注ﾊﾞ-ｽでﾘｰｽを含んで記載しております。

2. 4-12月期では減価償却費を通期見込み額の3/4で計算しております。

5. 部門別研究開発費

(単位：億円)

	2004年度					2005年度				
	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	通期	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	通期(11月8日予)
電子部品事業	55	55	40	46	198	40	41	43	-	185
音響製品事業	53	57	52	61	224	67	67	80	-	280
物流・その他	0	0	0	0	1	0	0	0	-	1
合計	109	113	93	108	424	108	109	124	-	467

6. 部門別棚卸資産(製品、仕掛品、材料・貯蔵品)

(単位：億円)

	2004/6	2004/9	2004/12	2005/3		2005/6	2005/9	2005/12
	電子部品事業	542	572	582		535	532	553
音響製品事業	327	346	336	307	345	343	364	
物流・その他	7	7	7	7	8	7	8	
消去	0	1	1	1	0	-	-	
合計	876	925	924	849	887	905	933	

7. 従業員数

(単位：人)

	2004/6	2004/9	2004/12	2005/3		2005/6	2005/9	2005/12
	期末従業員数	34,818	32,519	33,231		32,869	33,704	34,934
(参考)単独従業員数	5,920	5,881	5,855	5,747	5,873	5,813	5,802	

億円未満は切り捨て表示。